

たきおっ子

～一人一人が輝き、「笑顔」あふれる滝尾小～

御船町立滝尾小学校 学校だより

第43号 令和3年3月1日(月)

たきおっ子の生活信条:

「たのしく、きたえて、おおらかに」

学級数7、在籍児童数:55名

文責:(校長)河地浩太郎

「ぼくからいうよ にっこりえがおで おはようございます」

～1年 甲斐柊仁さんのあいさつ標語作品～



なんとすてきな標語でしょう。これは、児童会運営委員会が募集したあいさつ標語の作品の一つです。滝尾小が3学期にがんばることとして、「大きな声で」「自分から先に」「笑顔で」あいさつをしようというのがあります。これを受けての児童会での取組です。(特によかったとして選ばれた人の作品を裏面に掲載しています。)

あいさつは、人と人との関わりを築くための第一歩であり、くらしを豊かにしていくには必要なものです。これは、人間だけでなく、集団で生きている動物たちも行っています。あいさつがうまくできなかつたり、しなかつたりすると相手との関係がぎくしゃくする場合があります。逆に、人から笑顔であいさつをされたり、返されたりすると気持ちがいいですね。人との新たな出会いがあるこれからの時季。一声大きいあいさつをしてみましょう。

人権集会をリモートで開催



※図書室からのリモートでの人権集会の様子

3学期の人権旬間は、「命の学習」を中心に取り組みました。そのまとめとしての集会を先日行いました。

初めに、養護の上古閑先生から、命の学習で学んだことの振り返りや自分の命はたくさんの人に支えられていること、そしてそれを大切にすることが大事ですというメッセージを写真を見せながら伝えてもらいました。そのあと、校長から「命の糸」という詩を読んで、「つながる命」を「つなぐ命」にしていきたいと思いますという話をしました。たった一つしかないかけがえのない命。これからも大切にしていきたいと思います。

心あたたまる雑巾とマスクに感謝

2月25日(木)に、木倉校区の民生児童委員の森田富士子さんから、手縫いの雑巾100枚を寄贈いただきました(右上写真)。91歳になられるお母様(渡辺ミサ子さん)が手縫いで作られたということです。心こもった雑巾に感謝です。



【寄贈いただいた雑巾】

また、右下のマスクは、水越地区の前体協会長の岩永義喜様からいただきました。昨年末に6年生が出した年賀状のお礼ということでした。一枚の葉書に込めた思いが伝わったのかなと思いました。お二人とも本当にありがとうございました。



【寄贈いただいたマスク】

6年生 ボランティアをありがとう



春先の暖かな日との22日(月)、正面玄関の門扉のペンキ塗りを、6年生が行ってくれました。

塗装がはがれている部分もあり、錆も少し見られていたもので、卒業間近のこの機会にしてもらいました。上手くできるかなと思いましたが、とても上手な手つきで、30分あまりで仕上げてくださいました。昼休みのボランティア、ありがとう。

授業参観、PTA総会、学級懇談会への参加、ありがとうございました。

先週の金曜日は、たくさん保護者の皆様に来校いただき、ありがとうございました。お子様の学習の様子はいかがだったでしょうか。また、最後のPTA総会や学級懇談会も滞りなく開催できました。これから本年度のまとめと次年度への準備を進めて参ります。

《新年度PTA役員さん》
会長 : 千代島大志さん
副会長 : 松本真弥さん
副会長・書記 : 園田理紗さん
母親部長 : 増田由香さん
会計 : 教頭先生



【授業参観の様子】

児童会運営委員会募集の「あいさつ標語」

ぼくからいうよ
につこりえがおで
おはようございます

一年 甲斐 柊仁

こんにちは
きようはたのしいきぶんだね

一年 日田 柊海

たのしくあいさつ
わくわくするねこんにちは

一年 甲斐 桂士

あいさつは
自分もみんなもうれしいな

二年 千代島 優

自分から
みんなにあいさつ 楽しいな

二年 福島 紫織

あいさつを
かえしてくれる うれしいな

二年 松下 庵菜

あいさつルール
明るくえがおで 自分から

三年 川端 希歩

あいさつで
心のとびら ひらこうよ

三年 遠藤 百華

あいさつは
えがおですると あたたまる

三年 松本 絆那

あいさつは
されてうれしいことばだよ

四年 桑原 奏音



あいさつを
みんなでしたら 友達に

五年 遠藤 都人

あいさつは
笑顔を生み出すエネルギー

五年 福島 美織

自分から
えがおの花を あいさつで

五年 錦戸 大晟

自分から
笑顔で先に あいさつを

六年 坂本 廉太郎

あいさつで
自分も相手も いい気持ち

六年 星野 仁葉

朝一番
元気になるね あいさつで

六年 藤田 もえ